

安全・安心

① 1005500  
**食品の安全について学ぼう**  
**食品安全消費者教室**

▼日時 6月26日(水)午後2時～3時30分。

▼会場 保健所(竹林町)。

▼内容 酒造工場が取り組む衛生管理や酒粕の上手な利用方法などの話を通して、食品の安全や食の大切さを学ぶ。

▼定員 先着40人。

▼申込期間 6月3～20日(必着)。

▼申込方法 直接またははがき・ファクス・Eメール(☎・年齢・職業・食品の安全に関する質問や疑問を明記)で、〒321-0974 竹林町972、生活衛生課☎(626)11110、FAX(627)9244、✉190702000@city.utsumomiya.tochigi.jp。

▼無事故への構えこまごま二分の隙もなく 6月2～8日は**危険物安全週間**

ガソリン・灯油類をはじめとする危険物は、事業所などに幅広く利用され、生活にも深く浸透しているため、安全確保が重要です。

▼危険物施設での消防訓練

▼日時 6月6日(木)午後2時～

交通ルールを守り  
 交通事故をなくしましょう

- 踏切事故防止に努めましょう ① 1003479
- ▼踏切前で一時停止し、自分の目と耳で安全確認をする。
  - ▼警報機が鳴り始めたら踏切内に入らない。
  - ▼踏切の向こう側に車が詰まっているときは、警報機が鳴っていても踏切内に入らない。
  - ▼遮断機のない踏切では、踏切内に入らないよう停止位置に注意する。
  - 自転車で踏切を渡るとき 自転車で踏切を渡る時は、ルールで滑るなどの危険があるので、自転車から降りて、押して渡るようにしましょう。
  - 踏切内でトラブルに遭ったら もし踏切内に閉じ込められたら、そのまま車をゆっくり進めてください。遮断棒は折れずに斜め上に上がり、脱出できます。また、もし踏切内で車が動かなくなったら、次のように対処しましょう。
  - ▼非常ボタンが設置してある場合は、速やかにボタンを押し、踏切がふさがれていることを駅や列車に知らせる。
  - ▼非常ボタンが設置されていない場合は、自動車に備え付けの発煙筒を使って、踏切がふさがれていることを知らせる。
  - ▼非常ボタンや発煙筒を使用した後でも安心せず、踏切内から出て、安全な場所で待避する。
  - ▼踏切内に閉じ込められた人や車を見つけたときは、周囲の人が非常ボタンを押し。
  - 6月は暴走族等根絶推進強化月間です 暴走族による暴走行為など、悪質で危険性・迷惑性の高い交通違反は、重大な事故につながる恐れがあります。家庭・地域・学校・職場で連携し、暴走族を根絶するため、次のことを徹底しましょう。
  - ▼暴走族には加入しない、させない。
  - ▼暴走族をやめる、やめさせる。
  - ▼暴走行為をしない、許さない。
  - ▼暴走族を見に行かない、行かせない。
- ☎生活安心課☎(632)2264

住まい

① 1005656  
**市営住宅入居者**  
**6月の募集**

▼受付日時 6月3～7日、午前9時～午後5時。

▼受付会場 住宅課(市役所9階)。

▼抽選会 6月13日(木)。

▼その他 募集住宅や申し込み資料

▼会場 油吉(中岡本町)。

▼内容 危険物施設(給油取扱所)からの火災を想定した消防訓練。

▼その他 当日は消防隊が訓練のためサイレンを鳴らします。

☎消防局予防課☎(625)5507

① 1006005  
**篠井ニュータウン**  
**分譲中**



整形地で、子育て世代におすすめ

■今月のピックアップ  
 プ区画 篠井区や篠井保育園に近い「3街区10」。日当たりの良い

格・方法など、詳しくは、住宅課や各☎・☎に置いてある「入居申込案内」「市営住宅入居者募集」や市☎をご覧ください。

☎住宅課☎(632)2553

■篠井ニュータウンの魅力を発信中

▼インスタグラムアカウント名 @shinoinewtown

▼ブログ「ひまわり日記」篠井ニュータウン☎URLからご覧ください。

☎市土地開発公社☎(632)2174

■犬と一緒に参加して学ぶ正しい飼育教室

▼日時 6月22日(土)午前10時～

## 東武宇都宮線フリー乗車DAY

1019096



▲フリー乗車券 (イメージ)

- ▼期日 6月15日(土)。
  - ▼区間 栃木駅～東武宇都宮駅。
  - ▼内容 当日、対象区間の改札口で配布される「東武宇都宮線フリー乗車券」を持参すると、各駅を何度でも乗り降り自由。
  - ▼その他 沿線の協力店や施設ではフリー乗車券を提示した人に各種特典やサービスを提供。また、東武宇都宮線沿線スタンプラリーの他、市の観光アプリを利用した日本遺産を巡るモバイルスタンプラリーなども実施します。この機会に、街なかや沿線にお出掛けください。
- ☎フリー乗車券やイベントに関する内容＝東武鉄道お客さまセンター☎03(5962)0102 (営業時間＝午前8時30分～午後7時。年中無休、ただし年末年始を除く)、地域政策室☎(632)2108

毎年7～9月になると大きく

## スズメバチの巣の駆除はお早めに

ya.tochigi.jp

☐u19070200@city.utsumomi

で、生活衛生課☎(626)1108、

▼申込方法 電話またはEメール

▼申込期間 6月3～21日。

▼定員 各先着10組。

▼対象 市内在住の、犬の飼い主とその飼養犬。これから飼う予定の人や飼い主のみの見学も可。

▼内容 佐々木美奈さん(獣医師)による正しい犬の飼い方教室。

▼会場 保健所。

11時～パピークラス、午前11時15分～午後0時15分～成犬クラス。

▼会場 保健所。

▼内容 佐々木美奈さん(獣医師)による正しい犬の飼い方教室。

▼対象 市内在住の、犬の飼い主とその飼養犬。これから飼う予定の人や飼い主のみの見学も可。

▼定員 各先着10組。

▼申込期間 6月3～21日。

▼申込方法 電話またはEメール

で、生活衛生課☎(626)1108、



なつたスズメバチの巣が発見されます。巣の駆除を専門業者に依頼すると費用が掛かります。大きくなる前に巣を発見できれば、比較的安全に駆除できます。

☎生活衛生課☎(626)1108

▼その他 スズメバチの巣の駆除を希望する場合は、専門業者にご相談ください。なお、本市ではスズメバチの巣の駆除は行っておりません。

▼巣を発見したら 急に近づかない、揺らさない、近くで騒がない。

▼その他 スズメバチの巣の駆除を希望する場合は、専門業者にご相談ください。なお、本市ではスズメバチの巣の駆除は行っておりません。

▼巣を発見したら 急に近づかない、揺らさない、近くで騒がない。

▼その他 スズメバチの巣の駆除を希望する場合は、専門業者にご相談ください。なお、本市ではスズメバチの巣の駆除は行っておりません。

▼巣を作りやすい場所 軒下、樹木、垣根や植え込みの中、床下、戸袋の中など。

## 蚊の発生を防止しましょう

1005597



蚊は刺されると、かゆみなど不快感を与えるだけでなく、デング熱などの感染症を媒介することもあります。蚊が媒介する感染症は海外(特に熱帯や亜熱帯)で多く発生しますが、国内での発生報告もあり、普段から注意が必要です。

■蚊の発生を抑えるには 蚊の防除には、水中に生息するボウフラ(蚊の幼虫)を発生させないことが最も効果的です。次のような場所に不要な水がたまらないよう家の周りを定期的に点検しましょう。

- ▼鉢植えの受け皿や古タイヤ・空き缶。
- ▼雨ざらしのバケツやジョウロ。
- ▼自転車やオートバイの雨よけシート。
- ▼詰まった雨どい。

■蚊に刺されないために 蚊の多い場所に行くときは、刺されないように、長袖シャツ・長ズボンを着用するなど肌の露出を少なくしましょう。

必要に応じて、虫除けスプレーなどの忌避剤を使用しましょう。

☎生活衛生課☎(626)1108

☎工事受付センター☎(633)3164

▼補助金額 施設の設置に要する経費の3分の2。限度額は右の表の通り。

▼対象施設 市街化区域の住宅(主に居住用の建物)を所有または占有している人。

▼対象施設 市街化区域の住宅(主に居住用の建物)を所有または占有している人。

## 雨水貯留タンク・浸透施設の設置費を補助

1002659

☎工事受付センター☎(633)3164

▼補助金額 施設の設置に要する経費の3分の2。限度額は右の表の通り。

▼対象施設 市街化区域の住宅(主に居住用の建物)を所有または占有している人。

▼対象施設 市街化区域の住宅(主に居住用の建物)を所有または占有している人。

### 雨水貯留タンク・浸透施設設置費補助の内容

対象施設	補助	限度
雨水貯留タンク(※)	1基 4万円	住宅1棟に付き2基まで
雨水浸透施設	1基 2万5,000円	住宅1棟に付き4基まで
浄化槽転用槽施設	1基 6万円	住宅1棟に付き1基まで

※貯留量は1基当たり100ℓ以上

環境

ID 1015080

緑のある生活を  
緑化講習会

▼日時 7月6日(土)午前10時～正午。

▼会場 平石区(下平出町)。

▼内容 夏を楽しむハンギングバスケット。

▼対象 市内在住か通勤通学者。

▼定員 先着40人。

▼費用 2500円(材料費)。

▼申込開始 6月3日。

▼申込方法 電話で、景観みどり課☎(632)2597へ。

▼その他 身近な地域コミュニティセンターや集会所などで開催する緑化講習会へ講師を派遣しています。お気軽にご相談ください。

花の育て方教室

参加者募集

▼日時 6月22日(土)午前10時～11時。

▼会場 八幡山公園(埴田5丁目)。

▼内容 田崎智子さんによる苔玉作り教室。

▼定員 先着15人。

▼費用 1000円(材料費)。

▼申込期限 6月13日午後4時。

ID 1005367

住宅地などの  
農薬の飛散防止

▼申込方法 電話で、八幡山公園管理事務所☎(624)0642へ。

住宅地などに近接する土地などの管理に当たっては、農薬の飛散による周辺住民などへの影響を防止するため、できるだけ農薬を使用しないよう心掛けましょう。やむを得ず農薬を散布する場合は、定められた用法・用量を厳守するとともに、飛散防止策を取るなど、十分な配慮をしましょう。

また、事前に、周囲に住んでいる人へ農薬を散布する日時などを周知しましょう。

問 住宅地での農薬散布⇨環境保全課☎(632)2420、農業に関する農薬散布⇨農林生産流通課☎(632)2466

スズムシの無料配布

および交換会

▼日時 7月6日(土)午前9時～11時。雨天決行。

▼会場 海道小北樹林地駐車場(海道町)。

▼内容 スズムシの無料配布(先着20人)とスズムシの交換会。

▼申込開始 6月5日。

6月募集の環境学習講座

- 1 植物で染めてリサイクル!  
▼日時 7月3・10・17日、午後1時30分～3時30分。全3回。  
▼会場 環境学習センター。  
▼内容 シルクを「あかね、コチニール」など好みに染めて、巾着作り。  
▼定員 抽選16人。  
▼費用 1,000円(参加費)。
- 2 夏の奥日光で生物多様性を学ぶ  
▼日時 7月6日(土)午前10時～正午、7月13日(土)午前9時～午後4時。全2回。  
▼会場 環境学習センター他。  
▼内容 6日＝奥日光の自然やシカの食害などに関する講義、13日＝バスで現地へ行き、小田代が原の自然やシカの食害の現状について学ぶ。  
▼定員 抽選40人。  
▼申込期限 6月15日(消印有効)。  
▼申込方法 往復はがきの往信に参加者全員の☎・学年を、返信に郵便番号・住所・氏名を書き、〒321-0126茂原町777-1、環境学習センターへ。複数講座に申し込み可。ただし、はがき1枚につき1講座(11人23人または1家族まで)。同一講座に複数枚の申し込み不可(同行者も含む)。  
▼その他 定員に満たない場合、締め切り日の1週間後午前9時から、電話で受け付け。  
問 環境学習センター☎(655)6030

夏の自然を観察しよう  
文化の森自然観察会

▼日時 7月20日(土)午前8時～11時。雨天中止。

▼会場 うつのみや文化の森(長岡町)。

▼内容 植物や昆虫など、夏の生き物を観察する。

▼定員 抽選40人。

▼費用 50円(保険料)。

▼申込期限 6月15日午後5時(必着)。

▼申込方法 往復はがきの往信

ほたるの里 梵天の湯で  
ほたる観察会

▼日時 6月15～19日、21～23日。午後8時～。

雨天中止の場合あり。

(今里町)。

▼その他 温泉をご利用の場合は、事前に利用を済ませ、歩きやすい靴でご参加ください。

問 梵天の湯☎(674)8963

